

# 議会広報

vol.2

## かみいち



### 目次

12月定例会の要点	……P2
議案審議結果	……P2
常任委員会報告	……P3
一般質問（9名）	……P4
追跡レポート	……P13

視察報告	……P14
視点	……P15
町民の声紹介	……P16
お知らせ	……P16



発行  
上市町議会 2015年2月

編集  
議会広報特別委員会

KAMIICHI

12月定例会の審議の要点

定住促進や地域産業活性化のため、指定管理などで民間の知恵を活用

平成26年度 一般会計補正予算

2億98万円を追加

総額 99億1697万円に

平成26年12月定例会は、12月10日から18日までの9日間にわたり開かれ、補正予算・条例制定など11件の議案について審議を行い、すべて原案のとおり可決しました。

最終日には、12月20日に任期満了となる固定資産評価審査委員の選任案件が追加提案され、大井喜世男委員の再任に同意しました。また、新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定により作成された「上市町新型インフルエンザ等対策行動計画」につき、議会への報告が行われました。

一般質問では、9名の議員が町政全般にわたり活発な議論を展開しました。（質問と答弁の要約は4ページから12ページです）

議事録は、2月中に町ホームページで検索・閲覧可能となります。

一般会計補正予算で  
特徴的な事業

◆民間住宅団地造成事業費

1235万円

上市町の民間住宅団地造成補助制度の要件を満たす四葉台に、1平方メートルあたり千円の助成を行います。

◆適応指導教室運営事業費

1021万円

不登校の児童・生徒のための適応指導教室を老朽化した劔寮から山村開発基幹集落センター1階に移すため、同センターの改修工事を行います。

◆観光推進費

351万円

観光振興に役立つ人材育成の民間委託を行うほか、来街者への利便性を図るためショッピングセンター「パル」1階の公衆便所の改修等を行います。

◆公債費

1億339万円

町債管理基金からの繰り入れを行い、保健福祉

総合センター建設の町債を3年早めて繰り上げ償還します。

上市町農産物

加工研修施設

条例の一部改正

「つるぎの味蔵」につき、施設の設置目的を地域農業活性化から、農産物加工品の開発・改良・販売促進支援による地域産業活性化に拡充するとともに、指定管理者制度の導入に必要な改正を行いました。

指定管理者の指定

該当施設につき平成27年4月1日から3年間の指定管理者を、生きがいデイサービス室（上市町社会福祉協議会）、馬場島野営場および劔岳青少年旅行村（馬場島を愛する会）、農産物加工研修施設（株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ）、と各々括弧内の団体に指定しました。

平成26年12月定例会 議案審議結果

平成26年度補正予算	議案第107号	一般会計補正予算	可決
	議案第108号～110号	下水道、後期高齢者医療、国民健康保険事業特別会計補正予算	
	議案第111号	水道事業会計補正予算	
	議案第112号	病院事業会計補正予算	
条例一部改正	議案第113号	上市町国民健康保険条例一部改正	可決
	議案第114号	上市町農産物加工研修施設条例一部改正	
	議案第115号	上市町営住宅条例一部改正	
その他	議案第116号	字の区域の新設に関する件	可決
	議案第117号	指定管理者の指定に関する件	
	議案第118号	上市町固定資産評価審査委員会委員選任に関し同意を得るの件	同意

# 委員会の審議

## 総務教育常任委員会

ふるさと納税、  
特産品PRで  
増加傾向

### 総務課

**Q** 上市消防署舟橋分遣所の状況は。

**A** 舟橋村民を対象とする救急がこれまで61件あった。

**Q** 指定管理者の馬場島を愛する会および株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズとは。

**A** 馬場島を愛する会は立山町の佐伯氏が代表を務める任意団体。ティー・ツリー社は上市町雇用創造協議会の茶木氏が設立し、従業員3、4名ほどで法人格を有する。

### 企画課

**Q** 上市スマートICの開業見通しは。

**A** 地区協議会、NEXT CO中日本、国土交通省

との協議や時期の問題もある。長くて10年程度かかる。

**Q** 増額補正の内容は。

**A** スマートIC調査に際して、500分の1の大縮尺の地図作成が必要となるため。

### 財務課

**Q** 還付加算金の状況は。

**A** 住民税は69名約41万円、11月上旬に支払い済み。国民健康保険税は64名約60万円で、11月下旬に支払い済み。

**Q** ふるさと納税10万円以上で提供する品物は。

**A** 米5kgと里芋5kgである。7名に提供した。今年度から特産品を提供しており、1万円以上の寄付をした方には生姜シロップなどの詰め合わせを送っている。

**Q** これまでの実績は。

**A** PR方法は。前年度は7件18万5千円、今年度は目

下20件215万円と増加ふるさと納税の案内を町のホームページなどに掲載している。

### 教育委員会事務局

**Q** 適応指導教室の改修内容は。

**A** 和室等を改修する。トイレは現教室のものを移設する。

**Q** 運動場の外部トイレのウォッシュレット化は。

**A** 校内のトイレは対応済み。公共施設は部分的であり、順番に考えていく。

### 【審議の結果】 議案第107号、議案116号

および議案117号を、全会一致で可決しました。



ふるさと納税で提供するお米

## 産業厚生常任委員会

味の指定管理、  
加工施設は従来ど  
おりで販売面や連  
携機能を強化

### 福祉課

**Q** 障害者相談支援事業所サポート事業の取り下げ原因は。

**A** 県の緊急雇用事業であり、相談員をハローワーク等で募集を行ったが求職が無くマッチングできなかった。

**Q** 要支援者サービスの市町村移行はどうなるのか。

**A** 国は介護保険から外す方向、平成29年度から町では今までと同様な対応を検討、中新川でも足並みを揃える予定。

### 産業課

**Q** 観光振興人材育成事業費とは。

**A** 緊急雇用事業に係る

もので、観光関連事業所で半年程度研修を受けた後に就職を行うもの。

**Q** PRポスターの内容は。

**A** パンフレットのポスター更新で1枚、体験内容を表示したもので1枚。町内や県を通じた配布を検討。

**Q** 味の指定管理の内容は。

**A** 加工施設は現状どおり。販売室は購入者の意見をフィードバックし、体験ツアーと連携を図りたい。

### 建設課

**Q** 白萩の町営住宅の募集は。

**A** 新規のものは現在募集中。20戸中4戸申し込み、10件の問い合わせがある。広報でも募集する。

### かみいち総合病院

**Q** 認定看護師の診療科目は。

**A** 皮膚、認知症、緩和ケアで3名。

**Q** 訪問看護ステーションの基本設計案は。

**A** 鉄骨造一部2階建て延べ約250平方メートル。北館北側の現駐車場に整備し、同館と渡り廊下でつなぐ。駐車場の収容台数や適切な動線の確保が、今後の課題となる。

【審議の結果】 議案第107号から議案第115号までを、全会一致で可決しました。



味の商品陳列棚



白萩西部町営住宅



## 一般質問

## 堀田 喜久男 議員



- ・新相ノ木駅周辺の活性化に期待
- ・上市駅は観光客出迎えの町の玄関

**新相ノ木駅及び周辺駅の利用客数の実績は**  
上市町管内全体で増

議員 新相ノ木駅開業から、間もなく一年を迎え、新駅周辺の上市四葉台造成工事中等、活性化に期待する。

そこで、新駅の利用客数の実績は如何か。又、従来からの駅及び越中舟橋駅の利用客数に変化は



あるのか。

**建設課長** 新相ノ木駅の

当初予測は一日当たり130人で、本年上半期の実績は142人。この間の利用人数は2万5557人。相ノ木駅は1万9355人(9701人減)、上市駅は18万1480人(1万3162人減)、新宮川駅は2万2779人(1230人減)だが、上市町管内全

体では24万9171人で1464人の増となっている。尚、参考に越中舟橋駅は8万4458人(3823人減)。新駅の設置効果は、公共交通の利用促進のみならず、民間宅地開発の誘発、更に商業施設や上経田区画整理エリアの住宅化の促進に寄与するものと考えている。

**上市駅前**に観光PR看板設置、道の駅的な施設新設を望む

駅構内・駅前の看板は検討中。道の駅的施設は長期検討課題

議員 上市駅に降り立つ観光客向けの、町全体が一目でわかる案内看板の設置が望ましい。

又、道の駅のような食事、土産物、地元特産品等が一ヶ所で揃う施設があれば良いと思うが如何か。

**産業課長** 上市駅は、新幹線開業後の首都圏からの観光客をお出迎えする町の玄関。初



めて降り立つ上市駅の印象が、その観光客が持つ、町のイメージに、直結するものと考えられる。駅構内の照明のLED化と案内看板、及び駅前の観光マップ看板設置を検討している。又、道の駅的な施設の新設は、建設費用や維持管理

費用の財政負担も大きく長期検討課題と考え、先ずは、農産物加工研修施設やまちなか交流プラザなどの既存施設の活用と特産品・お土産品の充実を図り、観光客の受け入れ態勢の整備を進めて参りたい。



## その他の質問

- ・上市駅地下駐輪場の放置自転車の扱いについて
- ・歩車道の段差解消について
- ・観光目的の巡回バス運行について



## 成川 友仁 議員

一般質問

### 上市町の潜在力を伸ばす取り組みを

#### 女性の起業支援

産業施策として育成を聖地となるよう  
継続支援する

**議員** 国の雇用対策事業のもとで組織された上市町雇用創造協議会の様々な取り組みの中でも、女性向けの起業支援が上市ならではの活動として注目を集めている。

同協議会は今年度末をもって活動を終了するが、有望な取り組みは町の産業施策の一環でじっくり育成することが事業の趣旨にも適う。実務面での側面支援も望ましい。来年度に向けた上市町の方針を問う。

より協議会がセミナー実施や特産品・滞在体験型観光商品の開発に取り組んだ結果、新たな雇用や商品販売など、町に与えた経済効果は大きい。協議会が解散した平成27年度以降においても、事業効果の高い取り組みは継続して実施したい。目下、継続事業の選別や事業の継承先の選定などを進めている。



女性のためのプチ起業塾

「女性のためのプチ起業塾」には町内外から多数の参加があり、卒業生で組織するグループの活動が活発であることから、女性起業家への支援を継続したいと考える。

上市町が結束力・行動力等のある女性起業家・団体の集う聖地となる

ことによつて、中心市街地の活性化が図られると期待する。

#### 「かみいち」の認知向上策

町の呼び名の認知向上を  
地域ブランドが鍵に

**議員** 県外に赴くと、上市町の名前が案外知られておらず、立山黒部や劔岳は聞いたことがあっても、町の名前はご存知ない方が多いとの実感をもつ。

町として、自治体の名前を知らしめる工夫や取り組みの状況について伺う。

**企画課長** 観光の魅力を伝えることに併せて、上市自身を宣伝するコンセプトで、各種パンフレットなどを作成している。

認知度向上策については、例えば氷見市が「寒ブリ」「氷見」をセットで長年かけて取り組んできたように、町の資源や魅力を地域ブランドとし、セットで売り込むことが必要と認識している。

#### 病院祭とナイトスクール

病院と地域をつなぐ  
取り組みの見直しは  
工夫を重ねて継続する

**議員** 11月2日の日曜日、かみいち総合病院祭が開催され盛況であった。今年で3回目を数える病院祭につき、手応えや得られた成果を問う。

昨年まで12回にわたって開催していた、地域への出張懇談会とも言えるナイトスクールにつき、今後の見通しを示された。

#### 総合病院事務局長

病院を身近なものとして、町の医療を受ける当事者として考えるきっかけとなるよう病院祭を開催している。毎年掲げるメインテーマに沿った特別講演のほか、医療に関する各種の催し物を試みている。参

加者アンケートを踏まえて、職員による反省会などで改善を図っている。

平成23年度から開催しているナイトスクールは、地域の方々との対話でつくる医療を目指している。相互理解を深めることのできる貴重な場として、継続したいと考えている。今年度は開催が遅れているが、年度末までには開催できるよう準備を進めている。



病院祭



## 一般質問

## 伊東 俊治 議員



## 新たなパンフレットで体験型の魅力を発信

## 観光パンフレット

議員 としておきの秘密基地の活用と進め方について。

産業課長 町観光協会では、新幹線開業に向け、観光旅行者の交流人口拡大を目指すため「上市町で出来る体験」をコンセプトとした観光パンフレットを作成した。

県内の観光関連施設はもろろんのこと、東京都にあるアンテナショップ「いきいき富山館」等に

設置し、首都圏へ情報発信を行っている。近年、旅行志向性は「行く」「見る」ツアーから「する」ツアーや「体験」「体感」プログラムを組み込んだものに移行しており、首都圏、更にその先にある欧米系の旅行者にその傾向が強いものとなっている。

こうした市場の動きを意識し、パンフレットを手にとった人が上市町へ訪れたくなるような体験メニューを視覚に訴える

形で多く掲載した内容になっている。町ではエコツアー体験の企画を進めており、有志でつくるガイドグループ「ゆるりんぐ」が上市町雇用創造協議会と共同で体験型の観光ツアーを開発し、町観光協会で販売を開始するなど官民一体となって観

光振興に取り組んでいる。また、首都圏の旅行会社やメディアにこれらのツアーをPRしており、高い関心を示している企業に引き続き商談を進めている。

森林セラピー基地の馬場島地区については自然を満喫できる魅力的なコースを提供するため馬場島セラピロードの整備、種地区については、トレッキングや山菜摘み等の自然体験活動を地元住民と味わっていた



光振興に取り組んでいる。また、首都圏の旅行会社やメディアにこれらのツアーをPRしており、高い関心を示している企業に引き続き商談を進めている。

森林セラピー基地の馬場島地区については自然を満喫できる魅力的なコースを提供するため馬場島セラピロードの整備、種地区については、トレッキングや山菜摘み等の自然体験活動を地元住民と味わっていた

く里山体験を検討している。今後も、町の自然観光資源や体験プログラムをPRし、誘客につなげていきたい。

## その他の質問

- ・まち、ひと、しごと創生本部について
- ・フレッシュ・アップ事業について



# 伏黒 日出松 議員



## 災害時 孤立集落の対策について

### 災害時の 孤立集落について

議員 災害時における孤立集落のライフラインの日頃からの対策は。総務課長 一人暮らしの安否確認は社会福祉協議会の事業であるケアネット21活動で定期的に行っている。

また、災害時における孤立集落のライフラインの対策として、通信では災害時優先電話を利用するほか、アンサーバック付き防災行政無線を利用して連絡を取る。定期点検と毎日チャイムでの点検を実施。電気については北陸電気保安協会と協定を結び備えを行っている。飲料水や食料の補給はヘリによる物資の投下になるが、補給がいきわたらない場合も考えられることから、町報や自主防災会を通じて、各家



昨年、四国を襲った大雪の災害復旧

庭において最低でも3日間分の食料を備蓄していただくようにお願いしている。なお、予想される孤立集落に実際に居住している人数は、あわせて99名である。

### 空き家管理について

議員 町の空き家調査と今後の管理は。

建設課長 2月から4月に消防団員にお願いして空き家実態調査を実施したところ、597件だった。現在は危険度判定をコンサルタントに委託して戸別調査を行っており、来年2月には取りまとめる予定となっている。

なお、国会では議員立法により「空き家等対策の推進に関する特別措置法案」が成立した。所有者把握のための固定資産税情報の内利用や要件が明確化された行政執行が認められており、空き家対策に対しての権利

### 県立高校の再編と上市高校の存続について

議員 県立高校の後期再編の議論が始まっているが、町として議論を起



県立上市高校の正面風景

さないのか。総務課長 県教育委員会は9月に新たな検討委員会を設置し、中長期的な視点で県立高校の望ましい学校規模や配置、学科構成などの議論を十分協議した後の段階で計画を策定する見通しである。しばらくは検討委員会での議論の行方を見守る。町長 上市高校がなくなってしまう方がない。声を上げないので、すかということだが、それなりに考えている。

### その他の質問

・認定こども園について



## 一般質問

## 田中 義則 議員



## 地方創生

## 地方の「まち・ひと・しごと」を創生することを目的とする政策

## 地方創生

議員 国の「地方創生」に何を期待するのか。

町長 国が人口減少・少子高齢化に対する構造的な問題に抜本的な対策を講じた全体像を示し、町が企画・立案した各種施策に財政的・制度的支援を期待する。

自然資源や農産品など、地域資源を掘り起こし有効活用することで、活性化する地域活動、雇用の場を増やす町の取り組みに制度的な助言、財政的な支援を期待する。なお、各種施策の実施には、全国一律の基準ではなく、地域の実情に応じた「きめ細やかな」対応、包括的に活用できる交付金の創設や地方交付税の充実など地方重視の措置を願う。

施策の推進に当たっては、具体的な政策目標を掲げた、町独自の「総合戦略」の策定が不可欠で、知恵を絞り、議会と住民

が一体となり地域活性化のビジョンを描く必要があると認識している。

平成27年度は、第7次上市町総合計画・前期基本計画の最終年度で、27年中に後期基本計画を策定し、前期計画の検証を踏まえ、「地方創生」に関する施策を盛り込む考えだ。この「地方創生」に関する各種施策を打ち出し実行することで、町の活力を生み、町の魅力が輝くよう、町と地域が一丸となって努力してまいりたい。

## 平成27年度の施策

議員 平成27年度当初予算における施策は。

町長 総合計画の基本目標ごとに、「にぎやか・上市」は、町道統合・柿沢線道路改良事業、若年層の定住施策の白萩西部公営住宅建設事業、住宅全48戸が完成予定、白萩西部地区の人口増対策並びに少子化対策。観光分野は、町観光協会と連携、北陸新幹線開業後の町のPRに取り組む施策、森林セラピー基地整備の馬場島周辺散策路の整備を行い、森林セラピーの展開に向けて鋭意取り組む。

「すくすく・上市」は、



## 第7次上市町総合計画



安全・安心な教育環境の確保、小中学校の体育館天井の落下防止対策、児童福祉は、放課後児童クラブの受け入れ年齢「おおむね10歳未満」を「小学校就学児童」まで拡大。

「あんしん・上市」は、かみいち総合病院の敷地内に訪問看護ステーションと家庭医療センターの建設、福祉・介護と連携した在宅医療支援体制の充実、がん検診等受診率の向上に取り組む各種健康診査等保健事業、消防車両の更新、水道事業の配水場の耐震化、市街地の雨水排水対策。

「自立した行財政運営の確立」は、ISO 9001取得事業、認証取得準備並びに取得後の運用の取り組み。

新年度当初予算は、限られた財源のなか重点的かつ効率的な予算配分に努める。

## その他の質問

・平成27年度の町税の税収見通し







# 平井 妙子 議員



## 3月14日北陸新幹線開業に向けて

### 新幹線開業と 観光客の誘致について

議員 北陸新幹線の開業と観光客の誘致の方策は。町長 北陸新幹線開業効果により本町の交流人口の拡大を図るには、体験プログラムやお土産品の開発、住民のおもてなしの気運の醸成、富山地方鉄道やタクシー、レンタサイクルといった交通手段の充実が必要だ。特に富山地方鉄道は車内外デザインによるPRや特



産品の販売、ツアー商品の販売やイベントの開催について検討し、沿線市町村との協力体制を整備して新幹線駅から上市駅への人の流れをつくりたい。

### 観光資源と観光の結び 付けについて

議員 観光客を上市町へ呼び込むための結び付けをどのように考えるか。

産業課長 新幹線を利用し富山駅、黒部宇奈月温泉駅で下車した観光客を町内に呼び込み、経済効果を高めるためには町内の観光地へ誘導し、回遊させ滞在し時間を長くする必要はある。観光客向けのタクシーの活用やコミュニティバスの見直しなど関係機関と相談し利便性の向上を図る。

また、レンタサイクルとしてマウンテンバイクを4台ほど配置し、サイクリングコースマップの作成による観光プログラムの充実を図る。

### 定着した人口対策について

議員 町の人口流出減と定着人口増に対する取り組みと今後の課題は。

町長 平成25年10月現



課題だ。

在の人口は2万1329人で、平成20年10月の2万2433人より1104人減少している。平成24年10月の社会動態では転入が509人に対し転出が582人。自然動態では出生が108人に対し死亡が304人と196人のマインナスで、転入者と出生者を増やすことが大きな課題だ。若年世帯の住環境の改善、保育や教育環境の改善を進めており、陽南町営住宅の建設により、陽南小学校の児童数が増加に転じる効果が出てきた。議員提案の若年世帯定住助成の増額など、今後の検討課題とする。

一般質問

酒井 恒雄 議員



姉妹都市九十九里町友好締結 50 周年  
6 月 上市町において記念式典を開催



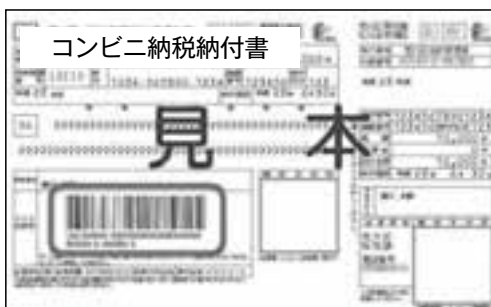
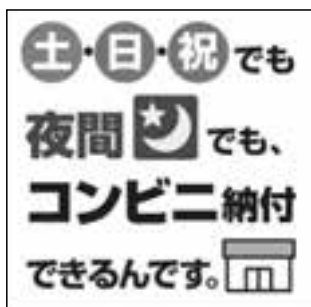
九十九里町ひよつとご祭風景

姉妹都市九十九里町  
友好締結50周年

議員 九十九里町との友好姉妹都市締結50周年の記念事業の内容は。町長 九十九里町との姉妹都市締結50周年の式典は、上市町において6月下旬に開催を予定している。簡素な形で行いたいと考えている。

コンビニ納税の  
実施について

議員 共同型自治体クラウドの導入に伴い、コンビニ納税に出来ないか。財務課長 コンビニ納税はシステム改修費等がかさむため見送ってきたが、富山県市町村共同型自治体クラウドサービスに加入することになり



費用も抑えられることから、来年度より随時納付が可能になるよう準備を進める。

新年度より、適応指導  
教室を移転

議員 小中学校の適応指導教室の山村開発基幹集落センターへの移転と剣寮の解体は。教育長 剣寮は中学校の寄宿舎として昭和39年に整備され、現在は不登校児童生徒が通学する適応指導教室として活用している。施設は老朽化が著しく、来年度より山村開発基幹集落センター1階に移転することとしてい



山村開発基幹集落センター

る。改修工事費を補正予算に計上した。町長 老朽化が著しいため解体し、跡地については有効利用できないか検討していく。

その他の質問

- ・平成27年度予算規模はどれ位立案されたのか
- ・平成27年度重点事業はどれ位考えているのか
- ・マイナンバー制度の導入について
- ・児童達の安全安心について



# 酒井 桂之 議員



## 平成 27 年度予算方針 第7次総合計画前期計画に掲げる重要施策は重点的に予算配分する

### 新年度予算方針

議員 平成27年度予算方針の編成をどのように考えているか。主要事業にはどのようなものがあるのか。

町長 平成27年度当初予算編成方針は経常経費を前年度以下に抑え、第7次総合計画前期計画に掲げる重要施策は重点的に予算配分する。主要事業については、社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバー制度に対応するシステム改修の実施と地域イントラネット等システム機器の更新を予定している。このほか、平成25年度から中学3年生まで対象を拡大した子ども医療費の助成や学校給食費の助成事業などを引き続き、推進していきたい。

### 財源不足

議員 財源不足対策をどのように考えているか。

町長 平成26年度当初予算においては、財源不足に伴う基金の繰り入れとして2億9800万円を計上している。平成27年度当初予算については、今後予算編成作業をすすめていく過程で、基金の繰り入れを極力少なくするように努めたいと考えている。

### 予算編成

議員 予算編成については、町民福祉を基本とし、少子高齢化対策を重点に取り組みを推進してほしいことと「人口減少」対策として、東京一極集中への歯止めを全国町村会で反映してもらいたい、子育てしやすい環境づくりや企業誘致で上市町で働く場所づくりを進めてほしい。

日本は世界で3番目の経済大国だが子どもを含めて、ほぼ6人に1人は貧困状態にあると新聞で報道されている。これはシングルマザーなど、子どもを抱えて働く母親の生活の厳しさを示している。母子世帯で働く母親は非正規労働者が多く、平均所得は全世帯平均の4割強であり、子供の貧困は学力や高校中退などに影響を与えている。私も母子世帯で生活が苦しく、生活保護を受けて育ってきた。母子世帯等への援助対策を予算編成の中で取り組んでいただくことを要望する。3月議会会でこの要望などがどのように取り組まれたのかお尋ねしたいと思う。



かみいち総合病院に訪問看護ステーションと家庭医療センターの一体型施設を整備



劔岳の麓、馬場島家族の森周辺で散策路・セラピーロードを整備



## 一般質問

## 碓井 憲夫 議員



## 雇用・生活不安の中では子供を3人も4人も産もうということにはならない

**低賃金を優先した民間委託のみなおしを**

議員 この30年間、大手企業を中心に事業の下降化・派遣社員の増大が進められてきた。初めのころはシステムエンジニアなどごく特殊な部門に許されていた派遣社員は、今日ではほぼ全体に拡大された。

**低賃金・期間雇用で若者のやる気をうばってはならない**

職場に格差と分断、低賃金化が進み、そのこと

H16年	弓庄保育所	二チイ学館へ委託
H20年	宮川保育所	若杉児童福祉会へ
H22年	音杉保育所	毅行福祉会へ
H22年	相ノ木保育所	富山学院福祉会へ

保育所民間委託の状況

が若者のやる気を奪い、ニート化を生み出す要因にもなっている。

**民間委託・指定管理料の積算額・賃金は正當なものになっていないか直営でなく、民間委託・指定管理にする意義と成果について質問する**

福祉課長 民営保育士の一人当たりの平均年収は経験年数が約10年でおおよそ280万円くらいではないかと認識している。

町長 民間保育所ならではの経験により病後児保育など特別保育等のニーズに対応が可能であり、事業実施に必要な人材確保の対応などについても柔軟に対応してもらえる。施設整備についても、国、県、町及び民間の補助金もあり施設整備計画が立てやすいなどの利点がある。

民間等の持つ創造的で柔軟な発想等によって利用者サービスの向上と経費の縮減を図られるこ

と、さらに、民間に任せること、政策立案、計画策定といった業務に人員を集中することが可能になる。

農産物加工研修施設の指定管理料は、これまでの実績などに基つき、賃金も含め、施設の管理運営に必要と想定される経費総額を積算し、利用料金制の採否などを勘案の上、適切に設定することとしていく。管理経費を過度に削減することによってサービスの質の低下を招くことのないよう、十分留意して参りたい。



味蔵

**農林業が守られている国は人口が増えている**

議員 この上市町でも浅生や塩谷の空き家に転入し農林業で暮らす若者がいる。種地区にも素晴らしい空き家がある。浅生に転入した若者は、あそあそ自然学校の活動のご縁だ。そうした方がさらに増えるようになるからか支援をすることが必要だ。

**なりゆきまかせでなく強いアクションが事態を変革する**

YKKは本社機能の半分を黒部市に移された。それにともない200世帯前後の方が黒部市や魚津市に住居を移された。これは県が粘り強くYKKに頼んだ結果だ。

**環境がよく、建物もしっかりしている空き家の活用について過疎地域に転入し農林業で暮らす若者世帯の支援について質問する**

町長 町は平成18年度から「空家情報提供制度」を実施し町の広報誌やホームページに掲載し広く公開し、これまでに18件の実績がある。

移住・定住に関する事業は県の農業普及指導員とともに広野地区において里芋の掘り取り体験事業を実施する等の新規就農に関する事業を行い、田舎暮らしの魅力積極的に内外に広く発信し、定住や交流を促進する取り組みを総合的に実施してきた。

グリーン・ツーリズムにおいては、県事業である「とやまの田舎」交流支援事業を活用し、重点地域の白萩南部と黒川の両地域を中心とした地域特有の魅力を活かして都市住民との交流を図り、元気な地域づくりを推進しているところである。



## 追跡レポート

# その後実った議会での提案・要望

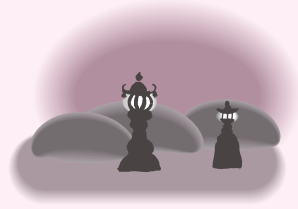
### さっかの寺のトイレ改修を

平成25年3月議会質問

#### その後

森林セラピー基地として散策に訪れる眼目山立山寺の公衆トイレが、下水道の開通に合わせて改築された。

平成26年度当初予算で改修完了。



### マタニティマークの設置を

平成21年3月議会予算等質疑に係る全員協議会

#### その後

かみいち総合病院の障害者専用駐車場に、妊婦さんやベビーカー利用者も優先駐車できるように、「マタニティマーク」が表示された。

先の平成26年9月議会に補正予算で上程可決され、12月末に設置完了。



## 視察報告

### アルプス縦貫トンネル

#### 促進特別委員会報告

上市町では馬場島から大町市扇沢をトンネルで貫く構想をもっており、10月27日新潟市内の国土交通省北陸地方整備局へ、議員全員で、野田徹局長に直接要望書を渡しました。

新幹線開通後、非常時には絶対必要です。東京まで300キロ、厳しい自然条件下にあっても雪や災害に強く、安全で経済効果の高いルートです、と強く要望。

当局より、「建設産業の現状と公共事業の執行について」資料を出され説明がありました。

局長から「この中に1年前太田大臣に直接要望書を渡した人がいる」と発言され、委員長が、その時の写真を提示しました。



野田局長に写真提示





視察報告

人口増全国3位・

埼玉県滑川町で学びました

10月28日議会視察

町に公共交通の東武東上線・森林公園駅が開設されたことが人口増の主な要因とのことですがどのような政策を行っておられるか？

- ★農業を大切にしたい町
- ・市民農園・加工農業
- ・観光農園
- ・放棄地対策として伝統の桑畑復活
- など地方再生に成果を上げておられることを学びました。

「町づくり研究会」を若い町職員を中心に立ち上げ、効率を優先しない政策を柱にしています。

★子育て日本一の町

そのため

- ・人気ある若者の一戸建住宅
- ・学童保育の充実
- ・18歳まで医療費無料
- ・給食費は無料
- ・保育所は希望者全員受け入れる
- ・買い物に便利な町づくり
- などの政策を推進しています。



総務教育常任委員会管内視察報告

総務教育常任委員会の管内視察を10月20日に行い、担当施設などを回り状況説明などを聞きました。

視察場所

- ・防災備蓄倉庫
- ・上市消防署
- 舟橋分遣所
- ・デジタル防災無線子局 (弓庄地区)
- ・B&Gプール解体工事現場 (稗田)
- ・旧白萩東部小学校 (折戸)

視察後には講評を行い委員からの質問に対し



して担当課より説明を受けました。

概要は次のとおり  
現在、備蓄倉庫は役場裏に設置されており、食料品や必要な機材、毛布等が備蓄されています。

防災倉庫は各町内に設置の場合、10万円を限度に補助し設置することができま

す。  
旧白萩東部小学校は、今後解体されることになっており、白萩東部公民館は折戸公民館にて活動しています。

産業厚生常任委員会管内視察報告

11月25日に視察を行い各施設の状況を、町担当課や施設職員の説明を伺いつつ現地で確かめました。

正印西部線道路改良第3第4工区工事(下経田)

新相ノ木駅付近から株式会社リッチェル西側の産業道路までを連結することにより、住宅地造成の促進や地域の活性化に期待できる道路工事。

役場前交差点改良第1工区工事(法音寺)

右折レーンを新設。交差点の交通渋滞解消が図られ、歩行者の安心安全に寄与する。

円筒分水場・共通幹線水路(釈泉寺)

上市川沿岸土地改良区にて県営造成後50年経過した。経年による用水機能の低下に対し、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業にて、

機能保全を行い安定的な農業用水の供給と維持管理の軽減を図る。

JAアルプス野菜集荷場(広野)

平成22年度1億円産地づくり条件整備事業対象のさといも選別ライン一式や、保冷庫を備える。

里山再生整備事業(片地)

地域や生活に密着した里山で、整備及び管理または利用について地域の合意形成が図られている森林として事業対象となった。



共通幹線水路



野菜集荷場



# 視点

## 勝戸 謙議員

農村に生活する、農家の一員である。作物を育てる栽培することが、当たり前のように子供のときから育ってきた。最近では雑草の多く繁茂した田畑を目の当たりにする。管理できる間は、頑張っつてゆきたいと考えている。

さて、左の写真は、皇帝ダリアと言う。

晩秋から初冬に花が咲く。栽培は、4月の苗購入にはじまり、身の丈は2・5メートルを超えた。初夏・梅雨・猛暑・台風などの様々な試練にもめげず、11月初旬から12月6日の、初雪に押し潰されるまで、薄紫色の花弁は、青い空に広がる花火を、連想させた。

来る年は、どんな作物に出会えるか、楽しみである。



## 伊東 俊治議員

平成17年の初めての一般質問で読書運動について質問しました。

終わってホッとしていたら、「上市の議会」で読書、図書室の質問をされたのは、伊東さんが初めてです」と数人の職員に言われ、嬉しくてライフワークにして続けてきました。読み聞かせや、読書タイム等の「各学校での読書運動について」「学校図書予算や配本について」「調べ学習用の図書について」「ブックスタート」等の質問をしました。読書の喜びを知っている人と、知らない人では人生の深さや大きさがまるで違ってくる。自分の人生は一回きりだが、読書によって何百何千のほかの人生に触れることができる、指導を受けました。

又、先輩に「今何を読んでいるか、君の成長が解る」又悩んでいる時、吉川英治の「宮本武蔵」に「あれになるう、これになるうと悩むより富士のように動かない自分をつくれ」と、言われ少しずつ本に近づいていきました。「三国志」「宮本武蔵」「徳川家康」「永遠の都」「93年」「レミゼラブル」「竜馬がゆく」等読みました。少しでも若者や子ども達が本に近づいて、読んでくれるように努力していきたい。



## 宝嶋 洋子議員

### 町民の目線で、住良く町づくり

縁あって、射水市（旧新湊）から嫁つぎ、早や39年、家の前から見える劔岳、四季の移り変わりに感動します。古代よりの稲作地、コシヒカリがとても美味しいです。3月14日よいよ新幹線が開業、この素晴らしい劔岳、上市町の観光地に来て頂きたいと願っています。

安心して歳を重ねられる町、老若男女が笑顔の町、子供と老人が積極的に触れ合う町に、町民の目線で、安心で明るく、楽しく暮らせるまちづくりを目指して、より多くの人との出会いを大切に「地域力」ある存在感あふれる町に成るよう頑張っていきたいと思えます。



# 町民の声 紹介



上荒又  
**中野 貴子さん**

◆**議会に期待することは**  
町の方向性となる十年、二十年後の明確なビジョンが見え難い。幅広く町民の声を取りまとめ、長期的具体策を検討、提言し、町全体が一丸となつて取り組めるような活気溢れる町づくりを期待したい。



広野  
**室田 清孝さん**

◆**議会に期待することは**  
議会広報創刊号を読ませていただきました。町議会の様子や町の問題に取り組む姿勢がよく理解できました。発行を楽しみにしています。

「自分たちの町は自分たちで守る」  
若い力に期待します。「消防団に入団求む」。

南加積分団に20年ぶりに新ポンプ車が配備されました。団員一同新たな気持ちで活動に意欲を燃やしています。

ゲリラ豪雨や地震の発生など、生命にかかわる自然災害が身近で発生しています。消防団がいち早く駆けつけます。

## 上市町選挙管理委員会 委員及び同補充員選挙

12月定例会において、選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴う選挙の結果、指名推選により、次の方々を選出いたしました。  
(敬称略)

### 委員

嘉藤 進  
土井 征勝  
浜田 啓二  
田中 恣

### 補充員

増田 利雄  
齊藤 忠義  
村上 達夫  
池田 吉明

後日、委員の互選により、委員長に嘉藤委員、職務代理者に土井委員が選出されました。

## お知らせ

### 「声」の募集

町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

## 3月定例会開催予定

3日(火) 本会議・全員協議会  
4日(水) 全員協議会  
5日(木)・6日(金)・11日(水) 議案調査日  
9日(月)・10日(火) 本会議(一般質問等)  
12日(木) 全員協議会(予算等質疑に係る一問一答)  
13日(金)・16日(月) 総務教育常任委員会  
17日(火)・18日(水) 産業厚生常任委員会  
19日(木) 全員協議会  
20日(金) 全員協議会・本会議

## 会議録の閲覧

インターネット上で定例会本会議の会議録の検閲や閲覧ができます。(定例会終了後約2か月後に更新されます。)

## アドレスはこちら

町ホームページ「議会会議録検索」または、  
<http://asp.db-search.com/kamichi-t/>

## 編集後記

年末年始に編集作業を進め、多くの方々のご協力のもと、無事第2号を発行することができました。

「創業は易(やす)く守成は難(かた)し」の言葉どおり、何事も新しく始めることよりも、始めたことを軌道にのせて守ってゆくことのほうが難しい。

創業・起業の支援にも言えることですが、小さく生んで大きく育てる知恵と気概が大切です。今後も議会の取組みに注目いただければ幸いです。

(成川友仁)



## 議会広報特別委員会

委員長	碓井 憲夫
副委員長	成川 友仁
委員	酒井 恒雄
	田中 義則
	伊東 俊治
	松谷 英真